

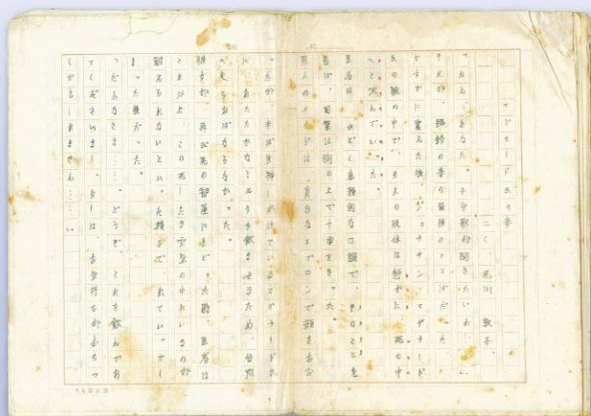
特別展

あさのあつこ展

みまさか
美作から生まれ出づる人と物語

岡山県美作市出身の作家 あさのあつこは、平成8年に『バッテリー』を発表。幅広い世代の支持を得た本作はあさのの代表作となり、刊行30周年を迎える現在、シリーズ累計で1,000万部を超えるベストセラーとなりました。その後も「NO.6」シリーズなどのヒット作を重ね、またデビュー以降一貫して出身地美作で執筆を続け、郷土岡手をモチーフとした作品も数多く執筆されています。

本展では、著作本や原稿資料、愛用品などを一堂に展覧いたします。ご来館される皆様にあさの作品の魅力と書き紡いできた軌跡を広く伝える展覧会を目指し、その作品世界と彼女の筆から生み出た〈ひと〉が放つ燦然とした輝きをご堪能いただけますと幸いです。



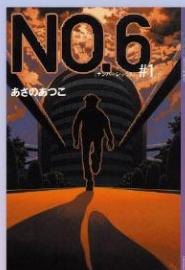
原稿「マグナード氏の妻」



『あかね色の風』
(新日本出版社 平成6年)



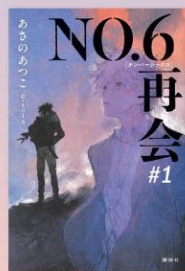
『バッテリー』
(教育画劇 平成8年)



『NO.6 #1』
(講談社 平成15年)



『弥勒の月』
(光文社 平成18年)

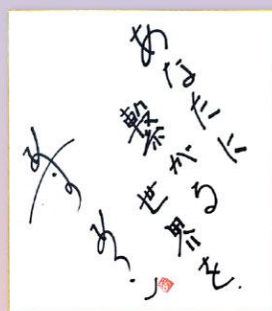


『NO.6 再会 #1』
(講談社 令和7年)

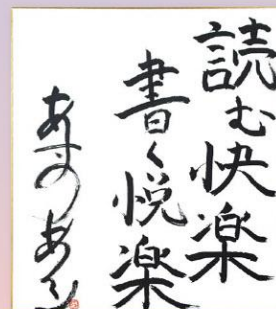


あさのあつこ 略歴

昭和29年、英田郡美作町湯郷(現・美作市)生まれ。青山学院大在学中に児童文学サークルに入り、児童文学作家の後藤竜二と交流。卒業後、教職を経て郷里に戻り結婚。子育て中に後藤からの勧めで執筆を再開。平成3年、37歳のときに『ほたる館物語』で児童文学作家としてデビュー。平成8年、『バッテリー』で野間児童文芸賞を受賞し、続けて同シリーズで、日本児童文学者協会賞、小学館児童出版文化賞をそれぞれ受賞。「THE MANZAI」「NO.6」の各シリーズなども人気を博し、児童書・YA以外の一般小説や時代小説でも多くの作品がある。平成23年、『たまゆら』で島清恋愛文学賞受賞。令和6年、「弥勒」「おいち不思議がたり」「闇医者おえん秘録帖」の各シリーズで第13回日本歴史時代作家協会シリーズ賞を受賞。美作市在住。



色紙
「あなたに繋がる世界を」



色紙
「読む快樂書く悦楽」

人と人との関係の中に秘宝のように

隠された「何か」があつて、それをずっと

掘り続けているんです。

(「小説現代2026年5・6月合併号」)

「NO.6 再会 #3」刊行記念特別対談より



KIBIJII LITERARY MUSEUM 40th Anniversary

吉備路文学館は昭和61年11月27日の開館から数えて今年で40周年の節目を迎えました。

これからも文学館として、吉備路地域の文学・文化の発展に寄与してまいります。

北泉庭のご案内

吉備路文学館には、小さな日本庭園があります。館内からゆっくりながめたり、庭をめぐってみたり。

春夏秋冬

四季それぞれの彩りをお楽しみいただけます。

(交通のご案内)

J Rでお越しの方：岡山駅より徒歩15分、タクシー3分

バスでお越しの方：岡電バス(妙善寺・三野公園)行、

または宇野バス(美作方面)行で「南方交番前」下車徒歩3分

お車で越しの方：文学館前の道路は午前東行・午後西行の一方通行です。



秋の庭

